

区分・種別	県指定史跡		
名称	ひだかくじらやまのこふん 日高鯨山の古墳		
所在地	今治市馬越町2丁目		
所有者	大山祇神社ほか	管理団体	今治市
指定年月日	昭和25年10月24日		
解説	<p>平地部にある^{くじらやま}鯨山は、標高15m、東西約150m、南北最長部約35mの独立した丘陵であり、この丘陵を利用して築造された古墳である。一般には前方後円墳といわれており、過去の記録にも「現状は前方部に当たる西南部が少し変形されているが、後円部はほぼ完全に旧態を存し、かつて^{えんとうはにわ}円筒埴輪があったという。」とある。しかし、墳丘実測図等から前方後円墳と断定するには疑問な点もあり、今後の調査を待たなければならない。</p> <p>天正7（1579）年の大三島の^{おおはふり おちやすとう}大祝越智安任の手記には「小千^{おちのみ}御子御墓在馬越邑」とあり、^{おちのくにのみやつこおちのみこと}越智国造乎致命の墓と伝えられ、付近の人も聖域としてよく保護している。</p>		

